

**新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大と  
これを受けた保健医療体制の確保について  
(指定都市市長会緊急コメント)**

新型コロナウイルス感染症については、オミクロン株の新たな派生型「BA.5系統」への置き換わりにより、全ての都道府県で新規感染者数が増加に転じ、第6波のピークを上回り急速に感染が拡大しております。さらに今後も、ワクチン接種等により獲得された免疫の減衰に加え、夏休みの人流増加と相まって、新規感染者数の急速な増加の継続も懸念されているところです。

そのような中、保健所業務と医療提供体制への負荷は日増しに大きくなっており、このペースで感染拡大が継続した場合、重症化リスクのある方へのアプローチが遅れるなど、国民の生命と健康を守れなくなる事態が生じることも危惧されます。

指定都市市長会は、これまで繰り返し新型コロナウイルス感染症対策に関する要請や提言を行い、国に必要な対応を求めてまいりました。目下の危機的状況を踏まえ、重症化のリスクなどに応じ重点化を図る観点から、感染者の全数を直ちに届け出る扱いを見直し、新たな届出基準を作成するなど、保健医療体制の確保のために実効性ある対策を国が早急に講ずるよう、改めて強く求めます。

指定都市は、住民に最も身近な基礎自治体として感染拡大防止や地域の医療提供体制の確保に全力で取り組むとともに、地域経済の維持にも全力を上げて取り組んでいく所存です。

令和4年7月29日

指定都市市長会

会 長

神戸市長 久元 喜造

危機管理・新型コロナウイルス対策担当市長

熊本市長 大西 一史